

## 第20回研修会開催報告

KSCD 事務局

京滋コンクリート診断士会では、第20回研修会を以下のとおり開催しました。当日は大勢の方のご出席を頂き、盛況裏に終了できました。ご出席頂きました皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。

1. 日 時:平成29年7月27日(月) 午前11時00分 ~ 午後16時45分

2. 会 場:京都建設会館4F 本館講堂

3. 第20回研修会

「デンカの電気化学的防食工法と中性化技術」 デンカ株式会社

「リフレドライショット工法」

住友大阪セメント株式会社

「RFID 構造物診断技術 WIMO」

太平洋セメント株式会社

「関西圏で想定すべき大・巨大地震を考えるー阪神淡路大震災、東日本大震災及び熊本地震を踏まえてー」

京都大学 教授 釜江克宏 先生

「北陸新幹線敦賀延伸工事におけるフライアッシュコンクリートの標準化と

ASR抑制対策の地域実装」

金沢大学 教授 鳥居和之先生



▲研修会の様子



▲釜江克宏先生の講演



▲鳥居和之先生の講演

- 当日は会員のほか行政・建築構造関連などから60名以上の参加がありました。
- 前半部:建設・メーカー3社より、診断技術・補修方法について情報提供いただきました。
- 後半部:釜江先生からは各地で発生している巨大地震データに基づいた予測による防災と耐震について、鳥居先生から北陸地域の特性を生かすフライアッシュの活用と ASR 対策について、それぞれ貴重なご講演を頂きました。

研修会終了後は会場を変えて懇親会を開催し、大勢の参加者で大盛況となりました。